

国際大会に参加して 千田 清 会員

ロータリーに入会以来24年経ちますが、国際大会と呼ばれるものに出席したのは、バーミンガムで4回目となります。

最初に行ったのは、坂本ガバナー年度の1996年10月、最後のアジア大会という事で松田弘正会長ほか18名でバンコックに行きました。2回目は2004年5月に日本で開催された大阪国際大会、3回目が翌2005年6月にロータリー100年を祝って発祥の地で開催されたシカゴ国際大会です。そして、足立ガバナー年度を締めくくる6月のバーミンガム国際大会への出席となる訳ですが、今回は足立ガバナー夫妻ほか10名の参加者の一員となりました。

前回のシカゴ大会は、ポールハリスが100年にロータリーを興した発祥の地に自ら立ってみたいとの思いで出かけました。大会場で牧野ガバナーにお会い出来なかった事と、単独旅行だったので行きも帰りも大変退屈な思いを致しました。やはり心の通った仲間と旅行出来る事が、最大の喜びに繋がります。その意味で今回の旅行は大変楽しい旅となりました。旅行の詳細は別の機会に譲りますが、足立ガバナー年度を釧路北RCメンバーの一員として支える事が出来た事と、年度の締めくくりのバーミンガム国際大会に仲間と共に参加出来た事は、本当に有難い事と思い感謝致します。



成田のホテル出発前夜



運河での一コマ



開会式



足立 功一 会員

世界大会の意義深いお話しを頂きました。



田村 憲一郎 会員

バーミンガム世界大会同行の感想を頂きました。



石井 東洋彦

スライドを使っでの説明・コメント